



平成30年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 ショーボンドホールディングス株式会社
 コード番号 1414 URL <http://www.sho-bondhd.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報管理部長 (氏名) 東城 俊哉

TEL 03-6892-7101

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	12,320	15.4	2,094	23.1	2,138	22.9	1,400	21.3
29年6月期第1四半期	10,675	1.5	1,700	3.0	1,740	2.8	1,155	4.5

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 2,474百万円 (64.4%) 29年6月期第1四半期 1,505百万円 (152.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	52.05	
29年6月期第1四半期	42.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第1四半期	82,020	69,259	84.4
29年6月期	84,266	69,243	82.2

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 69,259百万円 29年6月期 69,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		40.00		64.00	104.00
30年6月期					
30年6月期(予想)		50.00		64.00	114.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	6.8	5,050	0.4	5,200	1.0	3,500	0.6	130.04
通期	57,000	7.0	10,300	1.4	10,600	0.8	7,200	2.9	267.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期1Q	28,372,590 株	29年6月期	29,102,590 株
期末自己株式数	30年6月期1Q	1,457,969 株	29年6月期	2,187,919 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期1Q	26,914,659 株	29年6月期1Q	26,914,784 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年7月1日～平成29年9月30日）における当社グループの連結業績につきましては、おもに高速道路会社からの受注が増加したことにより、受注高は前年同期比17.0%増の188億49百万円となりました。前年に比べ72億86百万円増の手持工事が順調に施工されたことにより、売上高は前年同期比15.4%増の123億20百万円となりました。営業利益は前年同期比23.1%増の20億94百万円、経常利益は前年同期比22.9%増の21億38百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比21.3%増の14億円となり前年同期比で増収増益の結果となりました。

各高速道路会社では、高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理に関する従来からの修繕事業に加えて、長期にわたる安全性を確保するために必要な大規模更新及び大規模修繕（いわゆるリニューアル・プロジェクト）が本格化しつつあり、全体の工事発注量が増加しています。当社においても、首都高速道路株式会社をはじめ国や各高速道路会社からの大型受注が増えており、当第1四半期連結累計期間には30件以上の大型工事（受注額1億円以上）を受注しました。好調な受注が売上を上回ったことにより、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は期初より20.2%増の388億97百万円と更に増加しております。

各セグメントにおける受注実績、売上実績及び受注残高は次の通りです。

受注実績

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)
国内建設	15,563	18,226 (17.1%)
その他	548	623 (13.7%)
合 計	16,111	18,849 (17.0%)

(注) 表中の百分率は、対前年増減率

売上実績

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)
国内建設	10,126	11,697 (15.5%)
その他	548	623 (13.7%)
合 計	10,675	12,320 (15.4%)

(注) 表中の百分率は、対前年増減率

受注残高

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期連結会計期間末 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成29年9月30日)
国内建設	30,517	38,897 (27.5%)
その他	—	— (—%)
合 計	30,517	38,897 (27.5%)

(注) 表中の百分率は、対前年増減率

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度末より2,245百万円減少し、82,020百万円となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等、電子記録債務及び未払法人税等の支払により、現金預金が減少したためです。

負債は、前連結会計年度末より2,260百万円減少し、12,761百万円となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等、電子記録債務及び未払法人税等が減少したためです。

純資産は、前連結会計年度末より15百万円増加し、69,259百万円となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金が増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間・通期の業績予想につきましては、受注環境は引続き良好であるとともに、高速道路会社に加えて例年通り国および地方自治体等からの受注工事が売上計上され始めることが見込まれます。一方、当第1四半期連結会計期間末の受注残高に占める比率が高くなってきている大型工事につきましては、売上計上までに時間を要することもあり、現時点では平成29年8月9日の決算発表時に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	18,073	6,228
受取手形・完成工事未収入金等	17,540	20,324
有価証券	12,452	16,355
未成工事支出金	122	119
その他のたな卸資産	672	764
繰延税金資産	181	263
その他	909	783
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	49,937	44,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,049	3,008
機械装置及び運搬具（純額）	98	92
工具、器具及び備品（純額）	104	94
土地	8,608	8,579
建設仮勘定	37	110
有形固定資産合計	11,898	11,886
無形固定資産		
のれん	918	894
その他	129	121
無形固定資産合計	1,048	1,015
投資その他の資産		
投資有価証券	18,725	21,700
退職給付に係る資産	433	445
繰延税金資産	153	154
その他	2,101	2,023
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	21,381	24,292
固定資産合計	34,328	37,194
資産合計	84,266	82,020

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,462	4,189
電子記録債務	2,855	2,323
未払法人税等	1,923	619
未成工事受入金	1,720	1,160
賞与引当金	—	390
役員賞与引当金	212	—
完成工事補償引当金	77	59
工事損失引当金	17	39
繰延税金負債	1	2
その他	1,765	1,855
流動負債合計	13,036	10,639
固定負債		
繰延税金負債	440	622
土地再評価に係る繰延税金負債	323	323
完成工事補償引当金	203	169
役員退職慰労引当金	9	10
退職給付に係る負債	944	937
その他	64	57
固定負債合計	1,985	2,121
負債合計	15,022	12,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	36,013	34,762
利益剰余金	33,243	32,185
自己株式	△3,748	△2,498
株主資本合計	70,507	69,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,376	2,715
土地再評価差額金	△3,500	△2,764
為替換算調整勘定	△6	△5
退職給付に係る調整累計額	△133	△135
その他の包括利益累計額合計	△1,263	△190
純資産合計	69,243	69,259
負債純資産合計	84,266	82,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,675	12,320
売上原価	8,254	9,428
売上総利益	2,421	2,892
販売費及び一般管理費	720	798
営業利益	1,700	2,094
営業外収益		
受取利息	17	21
受取配当金	4	5
受取賃貸料	10	10
その他	16	13
営業外収益合計	49	50
営業外費用		
支払手数料	1	2
賃貸費用	1	2
その他	6	1
営業外費用合計	9	5
経常利益	1,740	2,138
特別利益		
固定資産売却益	33	0
特別利益合計	33	0
特別損失		
完成工事修補費用	42	30
減損損失	—	28
その他	0	0
特別損失合計	42	59
税金等調整前四半期純利益	1,731	2,079
法人税、住民税及び事業税	597	727
法人税等調整額	△21	△48
法人税等合計	575	678
四半期純利益	1,155	1,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,155	1,400

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,155	1,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	364	339
土地再評価差額金	—	736
為替換算調整勘定	△1	0
退職給付に係る調整額	△12	△2
その他の包括利益合計	349	1,073
四半期包括利益	1,505	2,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,505	2,474
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

前々連結会計年度において当社の子会社であるショーボンド建設株式会社及びその子会社が施工した橋梁補修工事で使用した落橋防止装置の部材に一部溶接不良があることが判明し、調査及び修補に伴う費用のうち当第1四半期連結累計期間に発生した費用30百万円を完成工事修補費用として特別損失に計上しています。

なお、将来発生が合理的に見込まれる調査費等で当第1四半期連結会計期間末において完成工事補償引当金に計上されている金額は169百万円であります。

一方、製造に起因する不良が判明した場合、その調査・修補費用については製造会社に求償することとしており、製造会社からの回収の都度、特別利益に計上する予定です。

しかしながら、今後数年間調査の過程で新たに修補費用が発生する可能性があり、また製造会社からの回収状況により、連結業績に影響が生じる可能性があります。その時期及び金額等については現時点では合理的に見積もることが出来ないため、その影響を連結財務諸表に反映していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1)外部顧客への売上高	10,126	548	10,675	—	10,675
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	341	341	△341	—
計	10,126	889	11,016	△341	10,675
セグメント利益	1,533	163	1,697	3	1,700

(注)1 「その他」には、「海外建設」、「製品製造事業」を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次の通りです。

(単位:百万円)

	金額
セグメント間取引消去によるもの	59
セグメントに配分していない全社費用(注)	△54
その他の調整額	△0
計	3

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1)外部顧客への売上高	11,697	623	12,320	—	12,320
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	439	440	△440	—
計	11,697	1,063	12,760	△440	12,320
セグメント利益	1,857	229	2,087	6	2,094

(注)1 「その他」には、「海外建設」、「製品製造事業」を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次の通りです。

(単位:百万円)

	金額
セグメント間取引消去によるもの	63
セグメントに配分していない全社費用(注)	△56
その他の調整額	0
計	6

(注) グループ全体の経営管理に係る一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内建設」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を特別損失に計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において28百万円であります。